

令和3年度PRTTRデータの概要

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（以下「化管法」という。）に基づき、神奈川県内の事業者から届出があった令和3年度の化学物質の排出量・移動量及び国が推計した化学物質の排出量を取りまとめましたので、お知らせします。

※ この資料で記載している排出量等の集計値やその割合を表す数値については、表示単位未満を四捨五入により端数処理しています。なお、端数処理のため、合計欄の数値が各数値を合計した数値と異なる場合があります。

※ 排出量とは、事業所から環境中に排出された化学物質の量、移動量とは、廃棄物として処理するために事業所の外へ移動した化学物質の量をいいます。

※ ダイオキシン類の届出排出量及び移動量については、重量（kg）ではなく、毒性等量（mg-TEQ）で届出を求めているため、集計の合計値から除いています。

1 概要（別紙1参照）

神奈川県内の状況は次のとおりです。

- ① 届出事業所数は1,222事業所で、前年度より6事業所増加しました。
- ② 届出排出量・移動量は11,877トンで、前年度より620トン減少しました。
- ③ 届出排出量は4,610トンで、前年度より133トン増加しました。
- ④ 届出移動量は7,267トンで、前年度より753トン減少しました。
- ⑤ 国が推計した神奈川県の届出外排出量は7,455トンで、前年度より237トン減少しました。
- ⑥ 全排出量は12,065トンで、前年度より104トン減少しました。
- ⑦ 全排出量は全国の都道府県中第8位でした。

表1 排出量等の状況

（届出事業所数以外は、トン／年）

	神奈川県			全国		
	令和2年度	令和3年度	増減	令和2年度	令和3年度	増減
届出事業所数	1,216	1,222	6	32,890	32,729	△161
届出排出量・移動量	12,498	11,877	△620	353,725	383,660	29,934
届出排出量	4,477	4,610	133	124,114	125,095	981
届出移動量	8,021	7,267	△753	229,612	258,565	28,953
届出外排出量	7,693	7,455	△237	193,500	187,676	△5,824
全排出量	12,169	12,065	△104	317,614	312,771	△4,843

表2 全排出量順位上位10都道府県

（トン／年）

順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
都道府県名	愛知県	静岡県	東京都	茨城県	千葉県	埼玉県	北海道	神奈川県	大阪府	広島県
全排出量	19,295	13,590	13,190	12,938	12,806	12,783	12,252	12,065	11,979	11,608

2 届出排出量及び移動量の状況

(1) 届出状況（別紙2及び別紙3参照）

令和4年度には、令和3年度に県内の事業者が把握した排出量及び移動量について、1,222事業所から届出がありました。

業種別及び市町村別の届出状況は、次のとおりです。

表3 業種別の届出状況

業種名	届出事業所数	届出物種別数	業種名	届出事業所数	届出物種別数
食料品製造業	4	6	医療用機械器具・医療用品製造業	4	4
飲料・たばこ・飼料製造業	2	4	その他の製造業	2	3
酒類製造業	1	1	電気業	6	6
衣服・その他の繊維製品製造業	1	4	ガス業	1	3
家具・装備品製造業	2	7	熱供給業	1	2
パルプ・紙・紙加工品製造業	8	4	下水道業	42	34
出版・印刷・同関連産業	11	11	鉄道業	2	4
化学工業	130	178	倉庫業	7	25
医薬品製造業	8	11	石油卸売業	15	8
農薬製造業	2	4	燃料小売業	535	8
石油製品・石炭製品製造業	22	46	洗濯業	8	4
プラスチック製品製造業	26	25	自動車整備業	12	7
ゴム製品製造業	9	33	機械修理業	1	3
窯業・土石製品製造業	14	21	計量証明業	3	2
鉄鋼業	10	31	一般廃棄物処理業（ごみ処分量に限る。）	45	34
非鉄金属製造業	22	32	産業廃棄物処分量	11	35
金属製品製造業	63	30	特別管理産業廃棄物処分量	1	31
一般機械器具製造業	37	25	医療業	2	2
電気機械器具製造業	50	32	高等教育機関	8	7
輸送用機械器具製造業	58	38	自然科学研究所	22	12
鉄道車両・同部分品製造業	4	6	合計		
船舶製造・修理業、船用機関製造業	7	11	※同一物質を複数の業種に計上した場合については、一物質として計上しています。	1,222	217※
精密機械器具製造業	3	5			

表4 市町村別の届出状況

市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数
横浜市	357	逗子市	2	綾瀬市	24	開成町	5
川崎市	178	三浦市	8	葉山町	6	箱根町	7
相模原市	102	秦野市	41	寒川町	20	真鶴町	0
横須賀市	44	厚木市	54	大磯町	4	湯河原町	2
平塚市	69	大和市	35	二宮町	2	愛川町	21
鎌倉市	16	伊勢原市	26	中井町	4	清川村	1
藤沢市	57	海老名市	24	大井町	8		
小田原市	43	座間市	19	松田町	0	合計	1,222
茅ヶ崎市	22	南足柄市	15	山北町	6		

(2) 届出排出量・移動量の集計結果

ア 全物質の届出排出量・移動量

事業所から届出のあった総届出排出量・移動量は県全体で 11,877 トンであり、その内訳は、総届出排出量 4,610 トン、総届出移動量 7,267 トンでした。

総届出排出量の内訳は、大気への排出 4,354 トン、公共用水域への排出 256 トン、土壌への排出及び事業所内での埋立処分はありませんでした。

また、総届出移動量の内訳は、事業所外への廃棄物としての移動 7,252 トン、下水道への移動 15 トンでした。

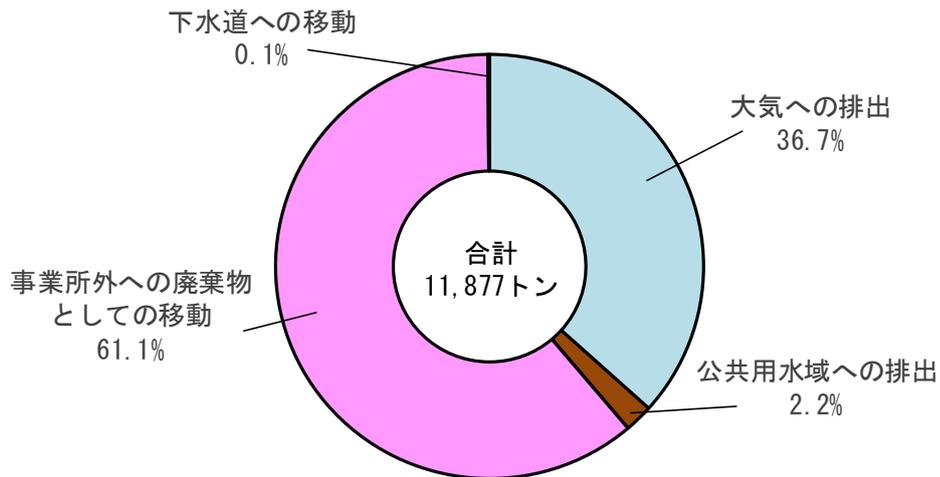


図1 総届出排出量・移動量

イ 届出排出量・移動量の状況

届出排出量・移動量の上位 10 物質の合計量は 8,988 トンで、総届出排出量・移動量 11,877 トンの 75.7%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

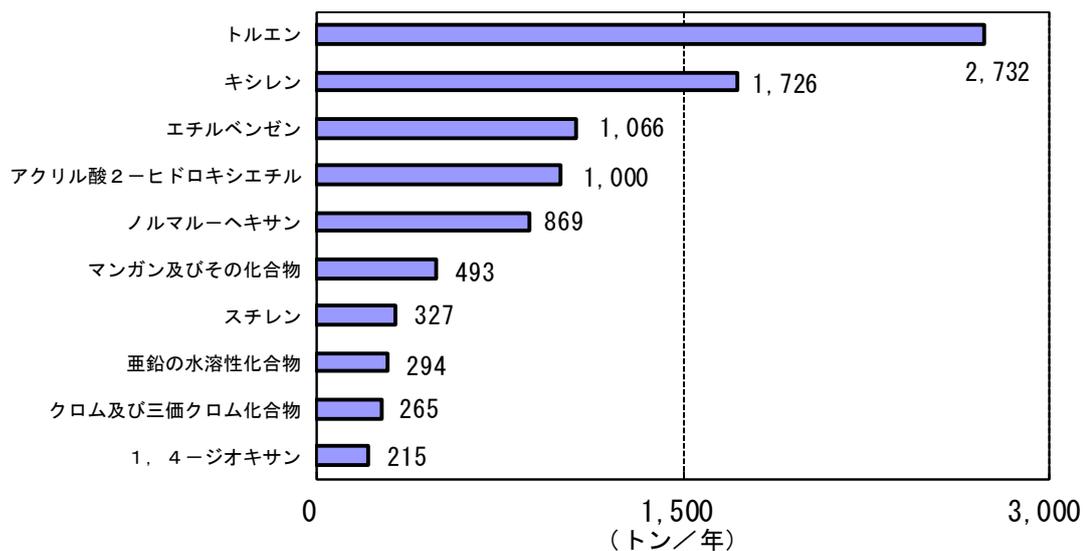


図2 届出排出量・移動量上位 10 物質

ウ 届出排出量の状況

届出排出量の上位 10 物質の合計量は 4,186 トンで、総届出排出量 4,610 トンの 90.8%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

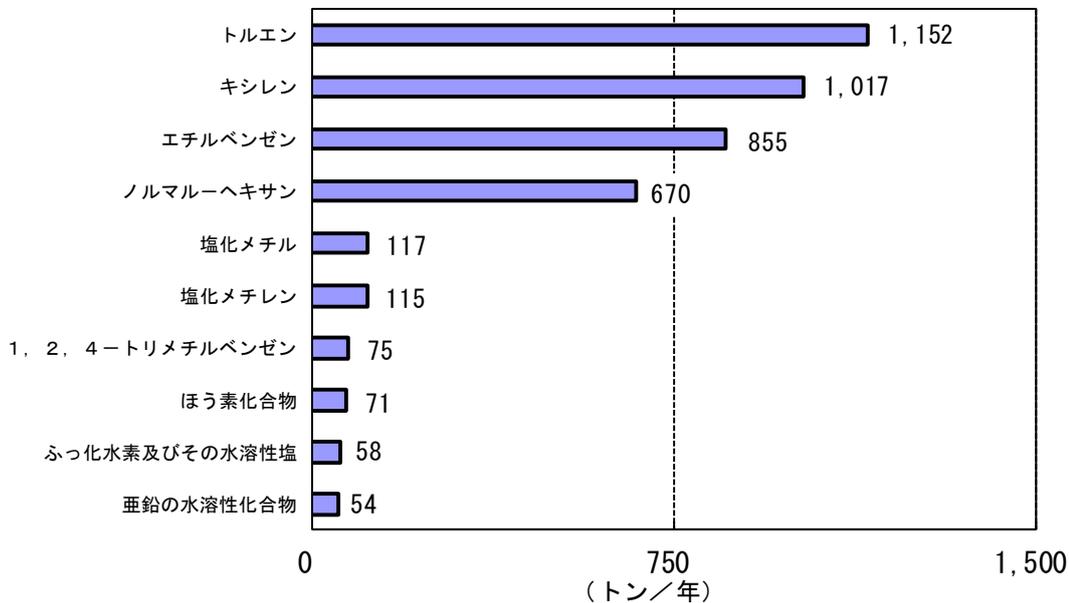


図 3 届出排出量上位 10 物質

エ 届出移動量の状況

届出移動量の上位 10 物質の合計量は 5,177 トンで、総届出移動量 7,267 トンの 71.2%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

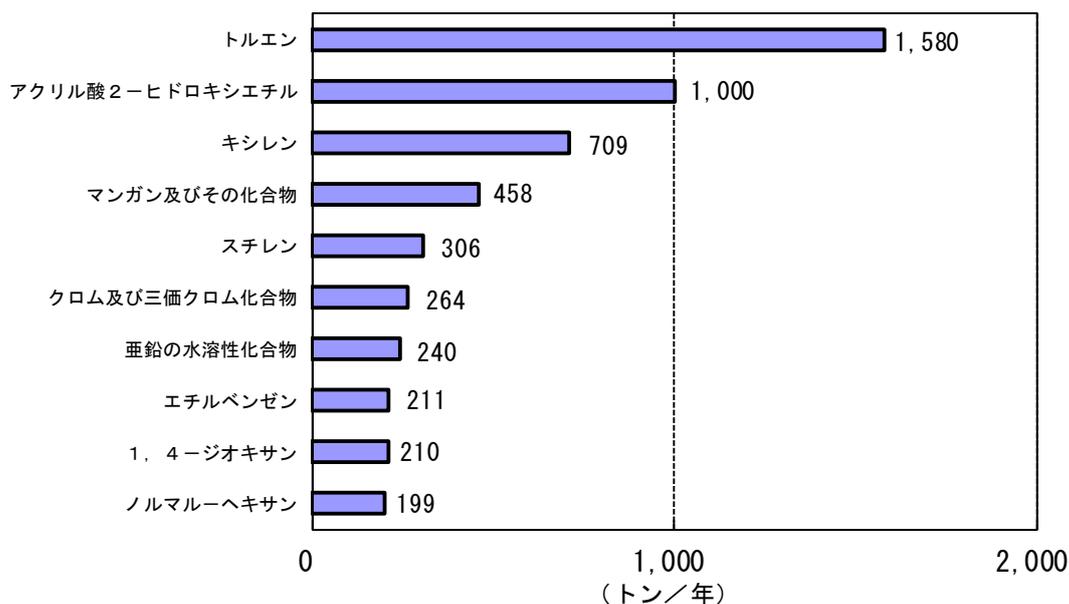


図 4 届出移動量上位 10 物質

オ 届出排出量の排出先ごとの状況

(ア) 大気への排出状況

大気への排出量の上位 10 物質の合計量は 4,129 トンで、大気への排出量全体 4,354 トンの 94.8 %に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

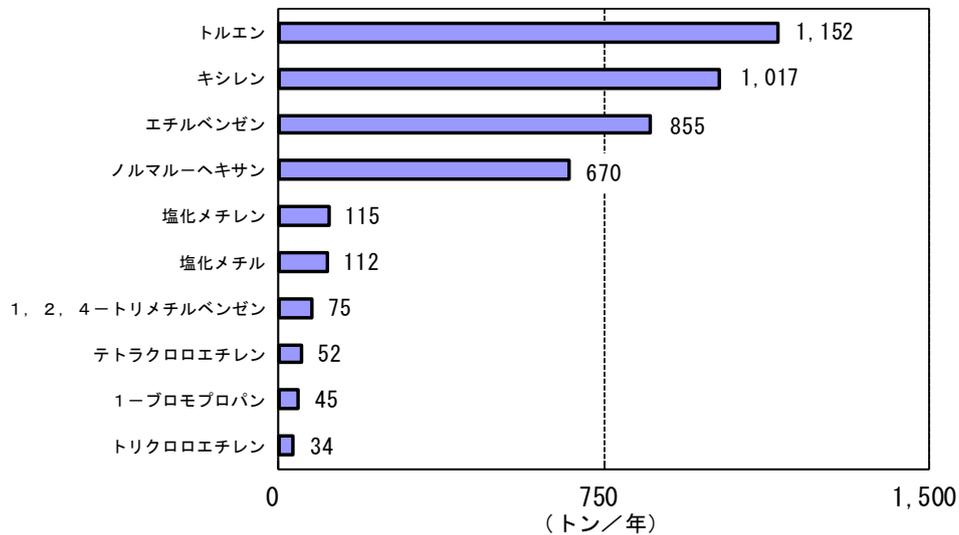


図5 大気への排出量上位 10 物質

(イ) 公共用水域への排出状況

公共用水域への排出量の上位 10 物質の合計量は 246 トンで、公共用水域への排出量全体 256 トンの 96.0%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

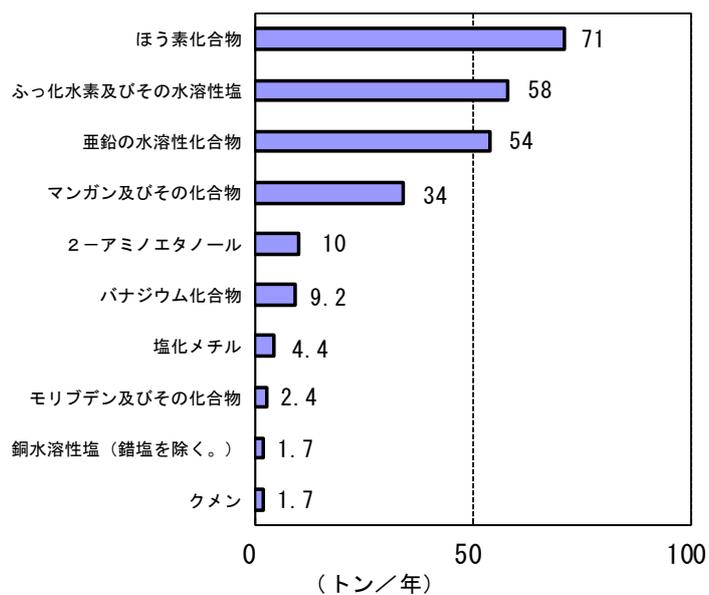


図6 公共用水域への排出量上位 10 物質

(ウ) 土壌への排出状況

土壌への排出を行ったという届出はありませんでした。

(イ) 事業所における埋立処分の状況

事業所内で埋立処分を行ったという届出はありませんでした。

カ 届出移動量の移動先ごとの状況

(ア) 廃棄物としての移動量

廃棄物としての移動量の上位 10 物質の合計量は 5,175 トンで、廃棄物としての移動量全体 7,252 トンの 71.4%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

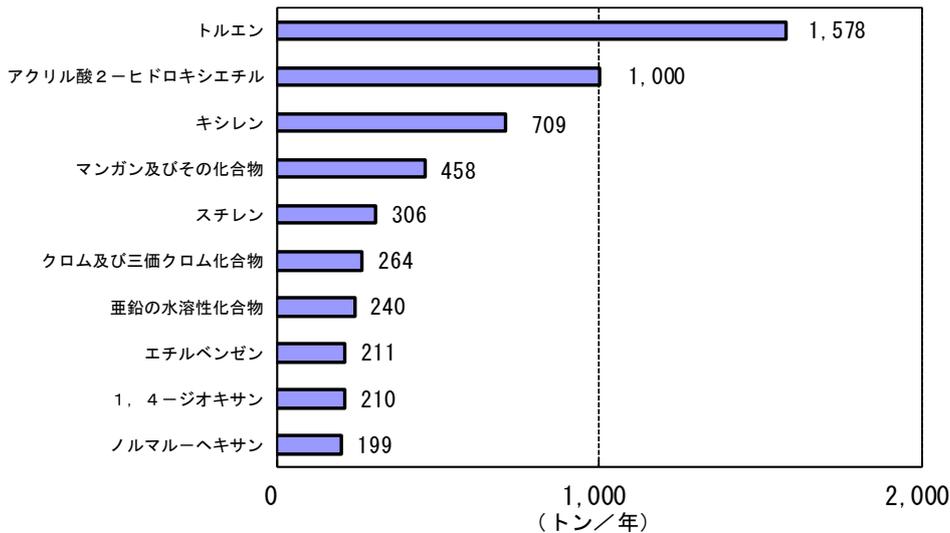


図7 廃棄物としての移動量上位10物質

(イ) 下水道への移動量

下水道への移動量の上位 10 物質の合計量 13 トンで、下水道への移動量全体 15 トンの 86.8%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

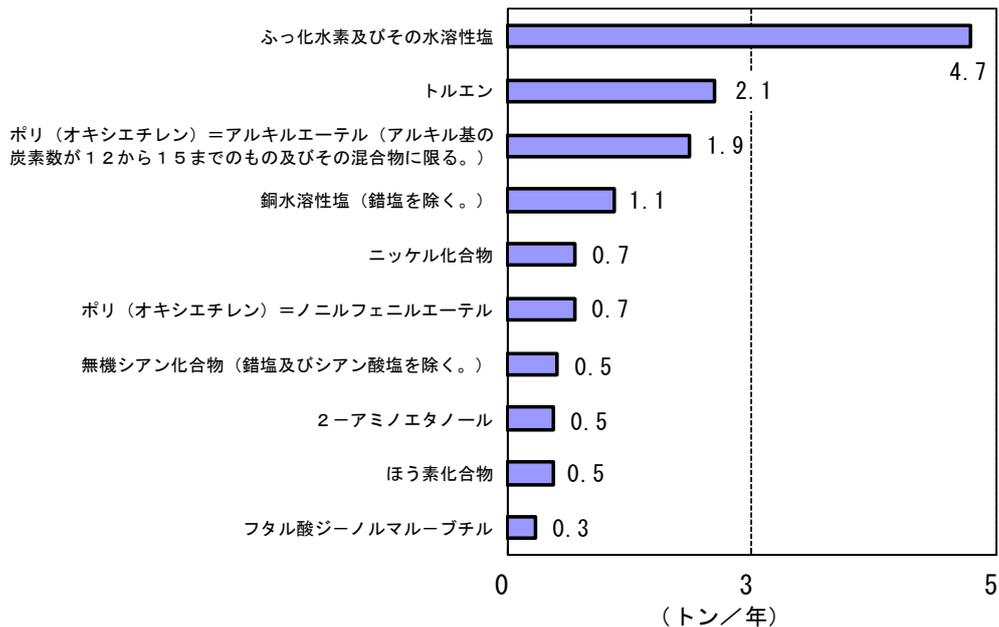


図8 下水道への移動量上位10物質

キ 業種別の届出排出量・移動量の状況

(7) 届出排出量・移動量

届出排出量・移動量の上位 10 業種の合計量は 10,414 トンで、総届出排出量・移動量 11,877 トンの 87.7%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

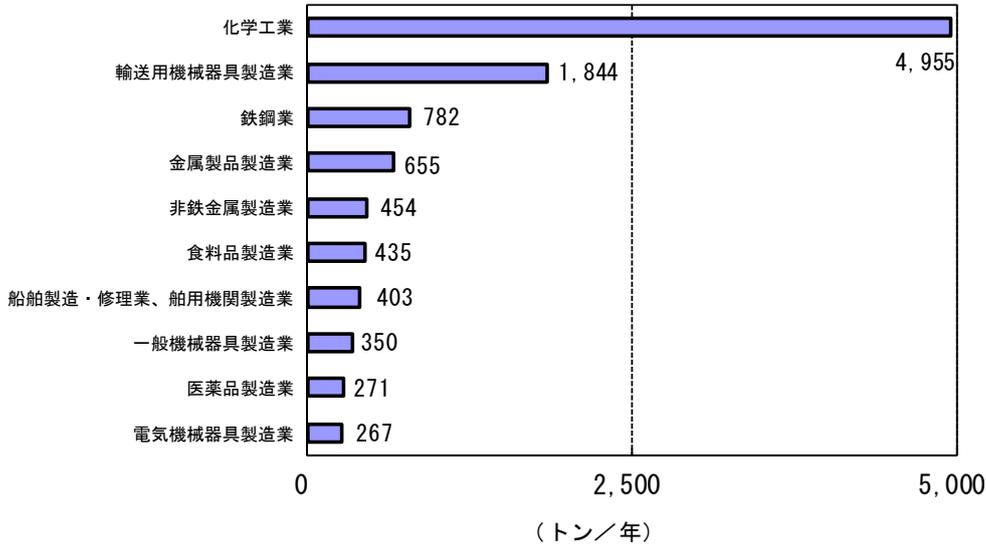


図 9 届出排出量・移動量上位 10 業種

(イ) 届出排出量

届出排出量の上位 10 業種の合計量は 4,118 トンで、総届出排出量 4,610 トンの 89.3%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

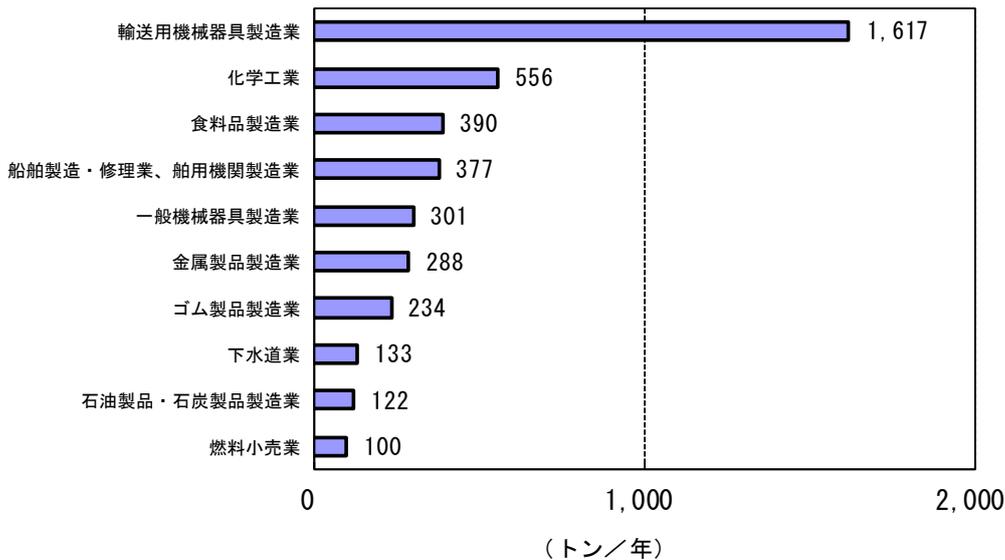


図 10 届出排出量上位 10 業種

(ウ) 届出移動量

届出移動量の上位 10 業種の合計量は 6,870 トンで、総届出移動量 7,267 トンの 94.5%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

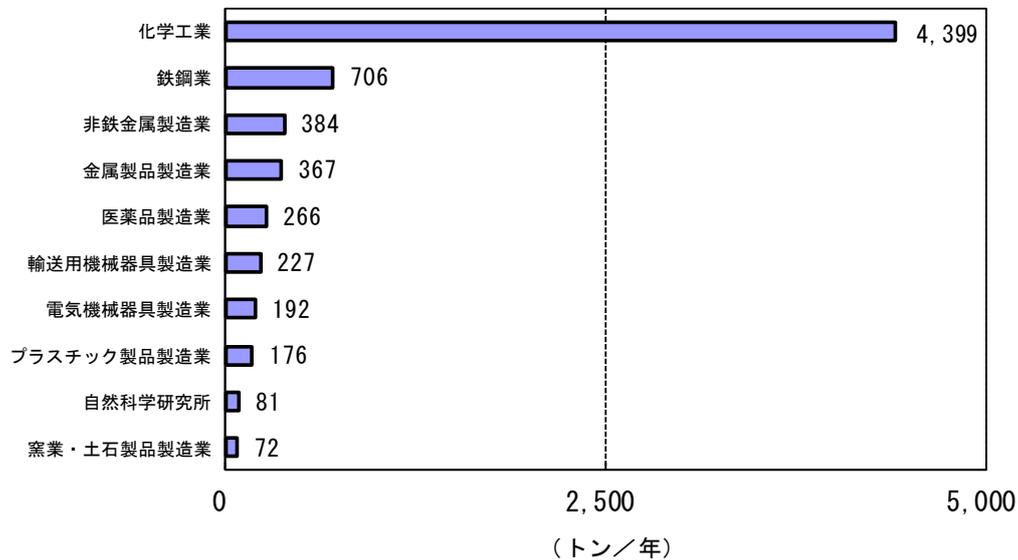


図 1 1 届出移動量上位 10 業種

ク 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量の状況

化管法で定められている人に対して発がん性のある特定第一種指定化学物質 15 物質のうち、本県では次のとおり 12 物質について排出等がありました。

表 5 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量

(kg/年 (ダイオキシン類はmg-TEQ/年))

対象化学物質	届出排出量					届出移動量			合計
	大気	公共用水域	土壌	埋立	小計	廃棄物	下水道	小計	
石綿	0	0	0	0	0	7,760	0	7,760	7,760
エチレンオキッド	5,375	0	0	0	5,375	170	0	170	5,545
カドミウム及びその化合物	0	4	0	0	4	17	0	17	21
六価クロム化合物	0	62	0	0	62	3,175	123	3,298	3,360
塩化ビニル	6,000	2	0	0	6,002	0	0	0	6,002
鉛化合物	66	13	0	0	78	59,684	2	59,686	59,764
ニッケル化合物	4	1,618	0	0	1,622	77,655	689	78,344	79,965
砒素及びその無機化合物	9	144	0	0	153	1,322	1	1,323	1,476
1,3-ブタジエン	16,110	120	0	0	16,230	341	0	341	16,571
2-プロモプロパン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベリリウム及びその化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンジリジン=トリクロリド	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンゼン	32,435	82	0	0	32,518	244	0	244	32,762
ホルムアルデヒド	9,273	423	0	0	9,696	39,471	149	39,620	49,316
合計	69,272	2,468	0	0	71,740	189,839	964	190,803	262,542
ダイオキシン類	629	25	0	0	654	75,568	1	75,569	76,223

※ダイオキシン類の届出排出量・移動量の単位は、重量 (kg) ではなく、毒性等量 (mg-TEQ) のため、集計の合計値から除いています。

3 届出外排出量の状況（別紙4参照）

(1) 全物質の届出外排出量

国が推計を行った令和3年度の県内の届出外排出量の合計は7,455トンであり、その内訳は、対象業種からの排出量1,964トン、非対象業種からの排出量2,276トン、家庭からの排出量1,058トン、移動体からの排出量2,157トンでした。

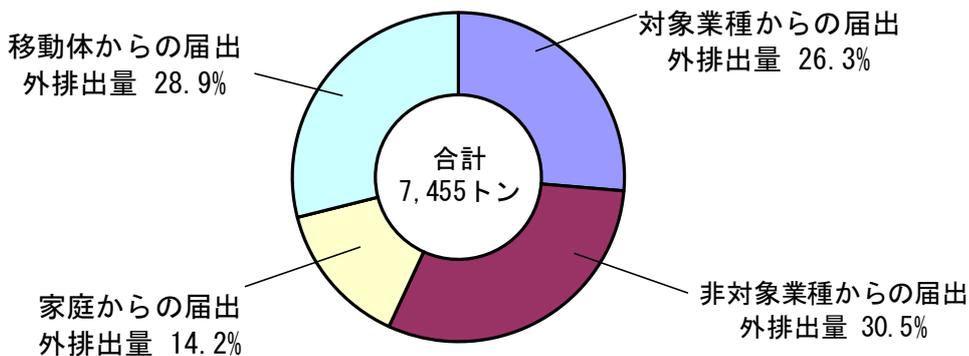


図12 届出外排出量

(2) 届出外排出量の状況

届出外排出量の上位10物質の合計量は5,879トンで、届出外排出量全体7,455トンの78.9%に当たります。

上位10物質は次のとおりです。

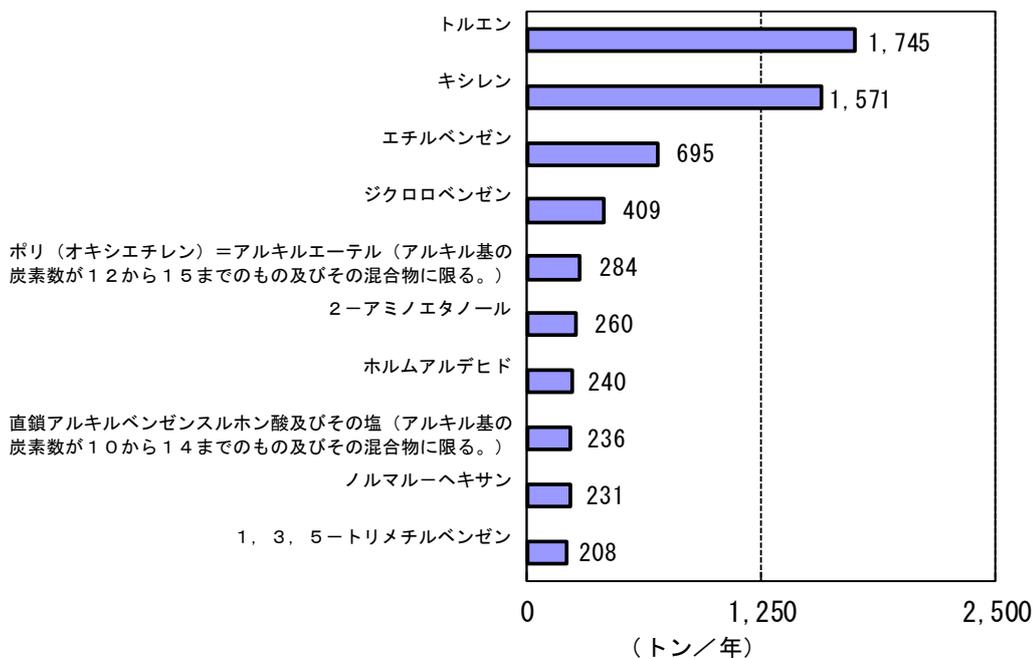


図13 届出外排出量上位10物質

(3) 対象業種からの届出外排出量の状況

対象業種からの届出外排出量の上位 10 物質の合計量は 1,556 トンで、対象業種からの届出外排出量全体 1,964 トンの 79.3%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

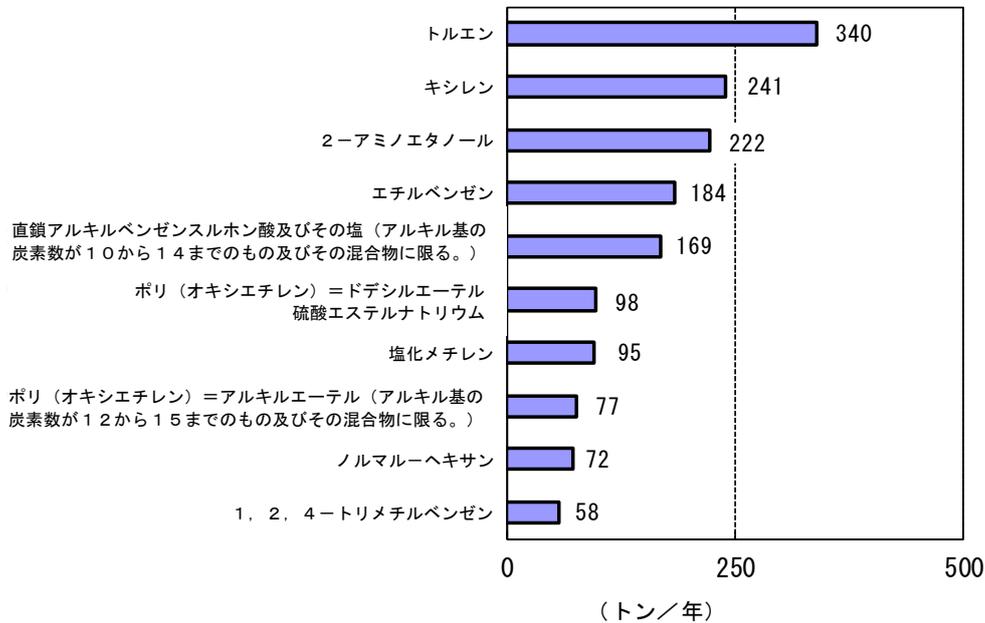


図 1 4 対象業種からの届出外排出量上位 10 物質

(4) 非対象業種からの排出量 (届出外) の状況

非対象業種からの排出量の上位 10 物質の合計量は 2,157 トンで、非対象業種からの排出量全体 2,276 トンの 94.8%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

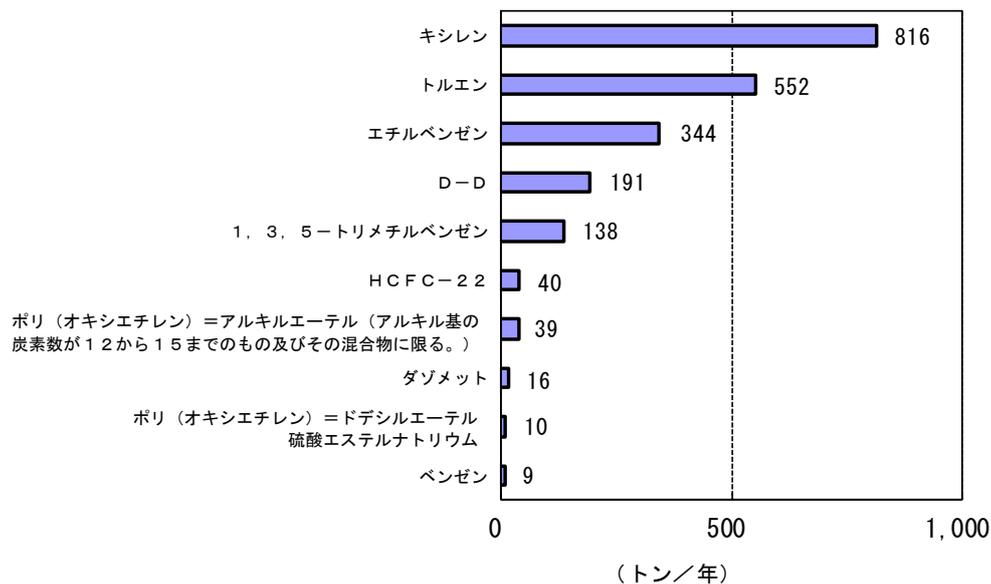


図 1 5 非対象業種からの届出外排出量上位 10 物質

(5) 家庭からの排出量（届出外）の状況

家庭からの排出量の上位 10 物質の合計量は 929 トンで、家庭からの排出量全体 1,058 トンの 87.8%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

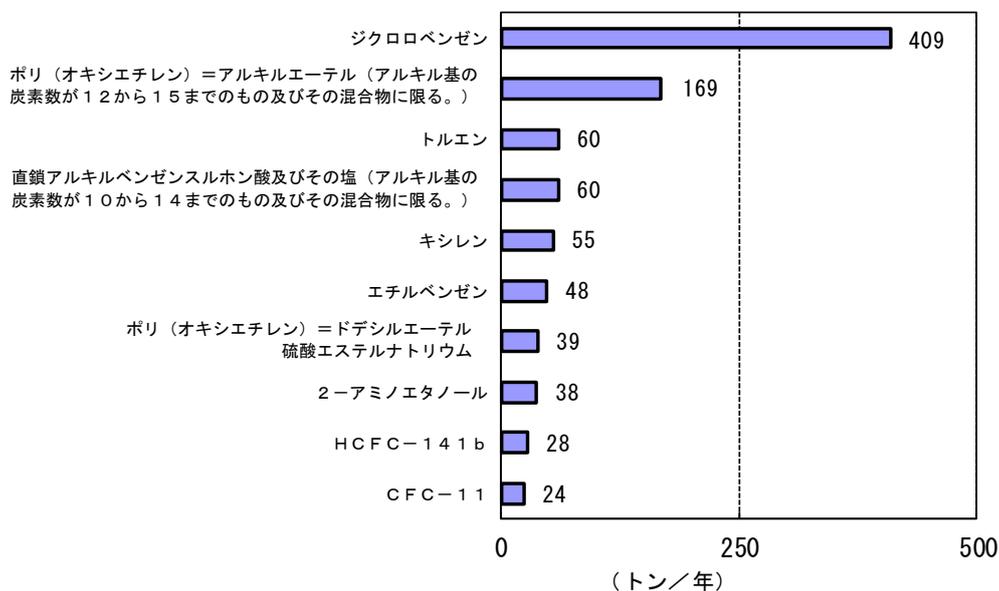


図 1 6 家庭からの届出外排出量上位 10 物質

(6) 移動体からの排出量（届出外）の状況

移動体からの排出量の上位 10 物質の合計量は 2,102 トンで、移動体からの排出量全体 2,157 トンの 97.4%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

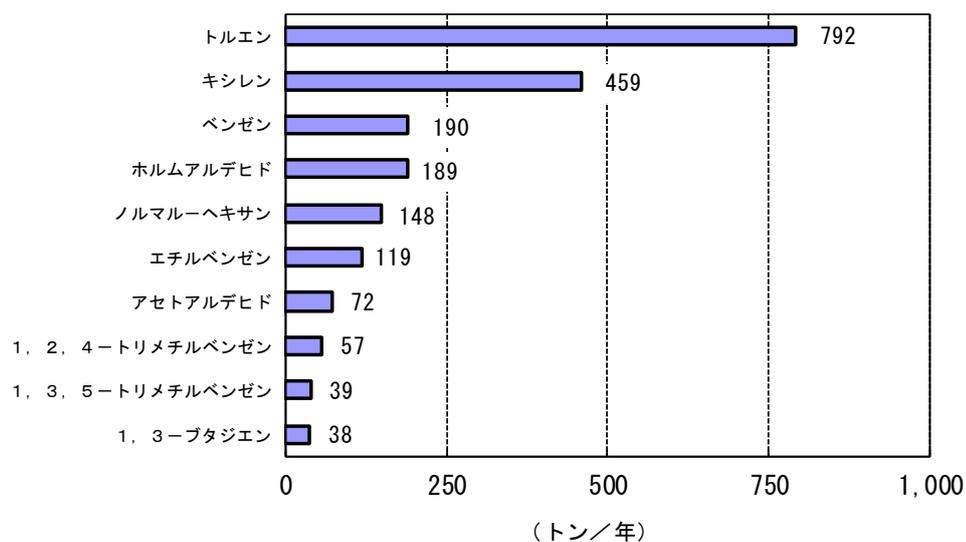


図 1 7 移動体からの届出外排出量上位 10 物質

また、移動体の種類別排出量は次のとおりです。

表 6 移動体の種類別排出量

(トン/年)

自動車	二輪車	特殊自動車	船舶	鉄道車両	航空機	合計
1,832	75	90	160	0	0	2,157

(7) 届出排出量と届出外排出量の合計の状況

届出排出量と届出外排出量の合計の上位 10 物質の合計量は 9,626 トンで、全排出量 12,065 トンの 79.8%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

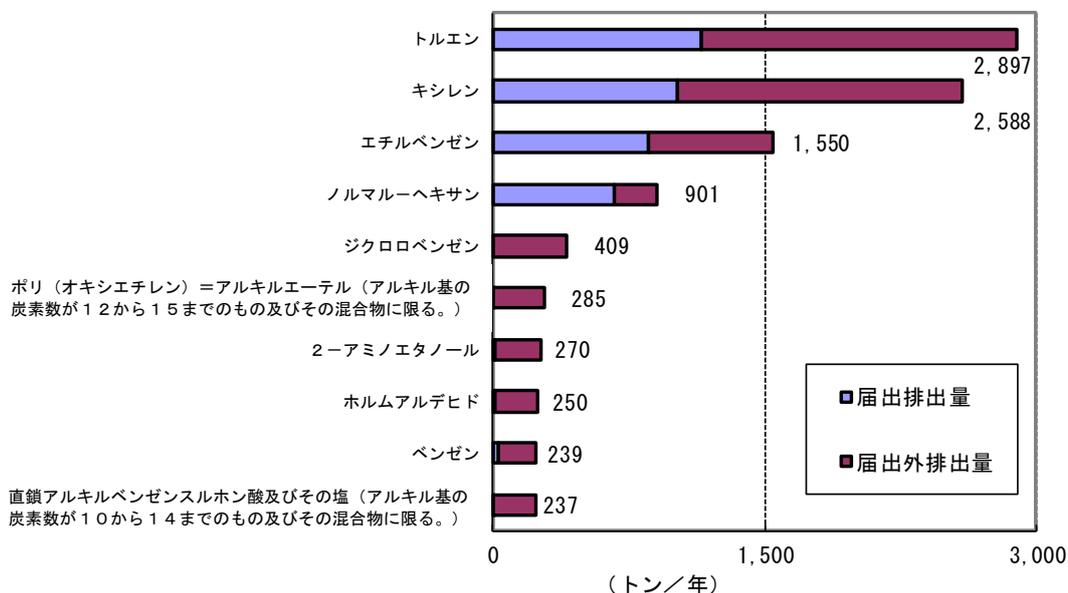


図 18 全排出量上位 10 物質

4 届出排出量及び移動量の推移

事業者から届出のあった排出量・移動量の推移については次のとおりです。

表 7 届出排出量・移動量の推移

(トン/年)

		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
届出排出量	大気への排出	7,136	5,808	5,493	5,255	5,268	5,190	5,107	5,038	4,505	4,199	4,354
	公共用水域への排出	327	311	280	288	284	267	272	325	286	278	256
	土壌への排出	0.001	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業所内での埋処分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	7,464	6,118	5,773	5,542	5,552	5,457	5,379	5,363	4,791	4,477	4,610
届出移動量	事業所外への廃棄物としての移動	11,166	11,036	8,685	6,756	8,142	8,387	7,000	7,455	8,055	7,993	7,252
	下水道への移動	91	76	91	66	180	173	54	44	25	28	15
	小計	11,258	11,112	8,775	6,821	8,322	8,559	7,054	7,498	8,080	8,021	7,267
合計	18,721	17,230	14,548	12,364	13,874	14,016	12,433	12,861	12,871	12,498	11,877	